

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|--|
| 事業名 | 「障害のある車椅子の子どもの持つ親のためのガイドブック」発行事業 |
| 事業主体 (連絡先) | えんがわ 事務担当/山本里江 (09041275626) |
| 事業区分 | (2) 保健・医療・福祉の充実、(6) オ. 障害者、女性の雇用促進に資する事業 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 2,000,000 円 (うち支援金: 1,600,000 円) |

事業内容

ガイドブック発行により車椅子の子がいる家庭の助けとなり、ノーマライゼーションの促進を行いました。また、本事業をモデルケースとした多様な雇用形態の認知を広げ、経済効果のみならず雇用促進にも繋げました。事業従事者は車椅子児の親や車椅子利用者に限定し、女性や障害者が外注雇用で自由に働けるようデザイン委託会社に雇用を依頼しました。

ガイドブックは冊子、Web サイト、電子ブックで県内外の多くの方に閲覧してもらえるよう制作してもらいました。

※事業途中で事務局を設け、電話による問い合わせ対応ができるようにしました。またガイドブック名を「車椅子の子どものいる親のためのガイドブック」に変更しました。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①当事者の必要な情報を掲載することにより、外出に対する不安感が減り外出への意欲が沸いたという家族が増えました。
- ②お店や施設に障害児が外出する困難さを理解してもらい、今後の改修検討課題に加えてもらうことができ、また来店時にオムツ替えスペースを用意していただくなどのソフト面でも協力を得ることができました。
- ③Web サイトやSNS で広く本ガイドブックを県内外に広め、安心して長野に来られることを印象付けました。
- ④県に協力してもらい学校や福祉施設に募集告知の配布をしましたが、「届いていない」「難しそう」と想定より応募者は少なかったため、作業内容、育成などの課題が残りました。しかし登録者にはデザイン委託会社に外注雇用をしてもらい作業依頼をすることができました。

発行後一年間アンケートや街中の動きを見て、検証する予定です。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

冊子発行後、アンケートと Web サイトで情報や意見を集め次号発行に向けた準備をしていきます。なお、平成28年3月に次号発行予定でしたが平成27年度は発行を取り止め、事業効果の検証と施設への啓発活動を推進しながら平成29年3月の発行を目指していきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(活動写真)



【ガイドブック及びWebサイト】

<http://kurumaisu-oyako.com>

【目標・ねらい】

- ①車椅子児家庭の外出促進補助
- ②ノーマライゼーションの促進
- ③福祉県長野の周知
- ④障害者や女性の雇用促進

※自己評価【B】

【理由】(2) に関しては啓発・理解促進ができたので A です。ただし、(6) は外注雇用の有用性は示せましたが、応募者の数が想定より少なかったため B としました。